

2013年度 第5回シャカリキフェスティバル〔社会学部卒業研究発表会〕(1/20現在)

- ・卒業論文は、両学科混合して、テーマごとに9つに分類。卒業制作は、テーマごとに3つに分類。テーマごとに部会をたて、教員が司会を担当。
- ・1部会、80分。一人あたりの持ち時間(質疑応答込み)は、部会内の発表者が2名の場合40分、3名の場合25分強、4名の場合20分。

A会場：卒業論文(1001教室)

13:20~13:30	開会宣言(会場担当教員：粉川)	
13:30 ~14:50	総合テーマ (1) つながり 司会：内藤	なぜひとりでカラオケに行くのかー空気を読む若者たちー 地域社会に与えるパーソナルネットワークの影響ー練馬区大泉学園町商店会活動からー 携帯電話の利用がコミュニケーション能力に及ぼす影響
14:50~15:00	休憩(10分)	
15:00 ~16:20	総合テーマ (2) よのなか 司会：安藤	21世紀の学生運動ー今後の社会と新左翼ー ヌードと社会ー人々はなぜ芸術に性を求めるのかー 原発批判の音楽史
16:20~16:30	休憩(10分)	
16:30 ~17:50	総合テーマ (3) じぶん 司会：矢田部	変身から見る現代社会と若者のアイデンティティー社会によるモデル呈示ー 女性の海外留学と「自分らしさ」の獲得の関係ー半構造化インタビューの分析からー 非行少年は『更生』出来るのかー保護司から更生システムを再考するー

B会場：卒業論文(1101教室)

13:20~13:30	開会宣言(会場担当教員：石森)	
13:30 ~14:50	総合テーマ (4) ジェンダー 司会：松井	規定されない性のあり方とはなにか お姫様は永遠の憧れなのかーディズニープリンセスにみる女性像と変わりゆく女性の生き方ー セクシュアルマイノリティにおけるパートナー観ー当事者の語りからみえる多様で平等な関係性と可能性ー
14:50~15:00	休憩(10分)	
15:00 ~16:20	総合テーマ (5) コミュニティ 司会：中西	エコツーリズムと地域の主体性ー埼玉県飯能市の事例からー コミュニティサイクルの可能性・課題 旧島民と新島民からみる小笠原の自然観
16:20~16:30	休憩(10分)	
16:30 ~17:50	総合テーマ (6) アイドル 司会：南田	女性向けコンテンツにおける新選組 アイドルにのめりこむファンーモノノフの実態ー 「ゆるキャラ」ブームはなぜ起こったのかー「くまモン」の現地調査を中心にー 人気者の社会学

C会場：卒業制作(1002教室)

13:20~13:30	開会宣言(会場担当教員：奥村)	
13:30 ~14:50	総合テーマ (7) 映像1 司会：イシ	社会を変えるにはーロックンローラー島昭宏の選択 放課後の黒板ーアニメーションで学ぶメディアリテラシーー 女川町竹浦復興への道
14:50~15:00	休憩(10分)	
15:00 ~16:20	総合テーマ (8) 紙媒体 司会：小田原	「家族の味」食卓から見る現代社会の家族のすがた サイクリストから見た被災地の今 『live close togetherー共に生きるー』を基に「世界から飢餓をなくすために・食べ物のもったいない」をなくすために
16:20~16:30	休憩(10分)	
16:30 ~17:50	総合テーマ (9) 映像2 司会：松本	私にしかできないことーある韓国教師が考えさせたことー 万てんー負けず嫌い芸者の"今"

記念品贈呈式+懇親会(食堂ホール+学生ホール)

18:00~19:30	記念品贈呈式+懇親会
-------------	------------